

安心・安全 info

発行：自然社
〒064-0914
札幌市中央区
南14条西8丁目1056番1
Tel.011-562-0606
Fax.011-562-0808

http://www.shizen-sha.co.jp

2009.11

手を変え品を変えはびこる

振り込め詐欺

警察庁の統計によると、今年の振り込め詐欺の認知件数は昨年より大幅に減少しています。それでも、詐欺グループはなかなか捕まらず、後を絶ちません。

諸対策の成果で犯行が封じ込められても、詐欺犯はさらに別の手口を編み出し実行するといったイタチゴッコの様子が、月ごとの増減にも表れているようです。振り込め詐欺被害の防止のために、新しい手口が出てきていないか常に警戒

が必要です。

NHK解説委員室のブログをもとに、最近の動きをみてみましょう。

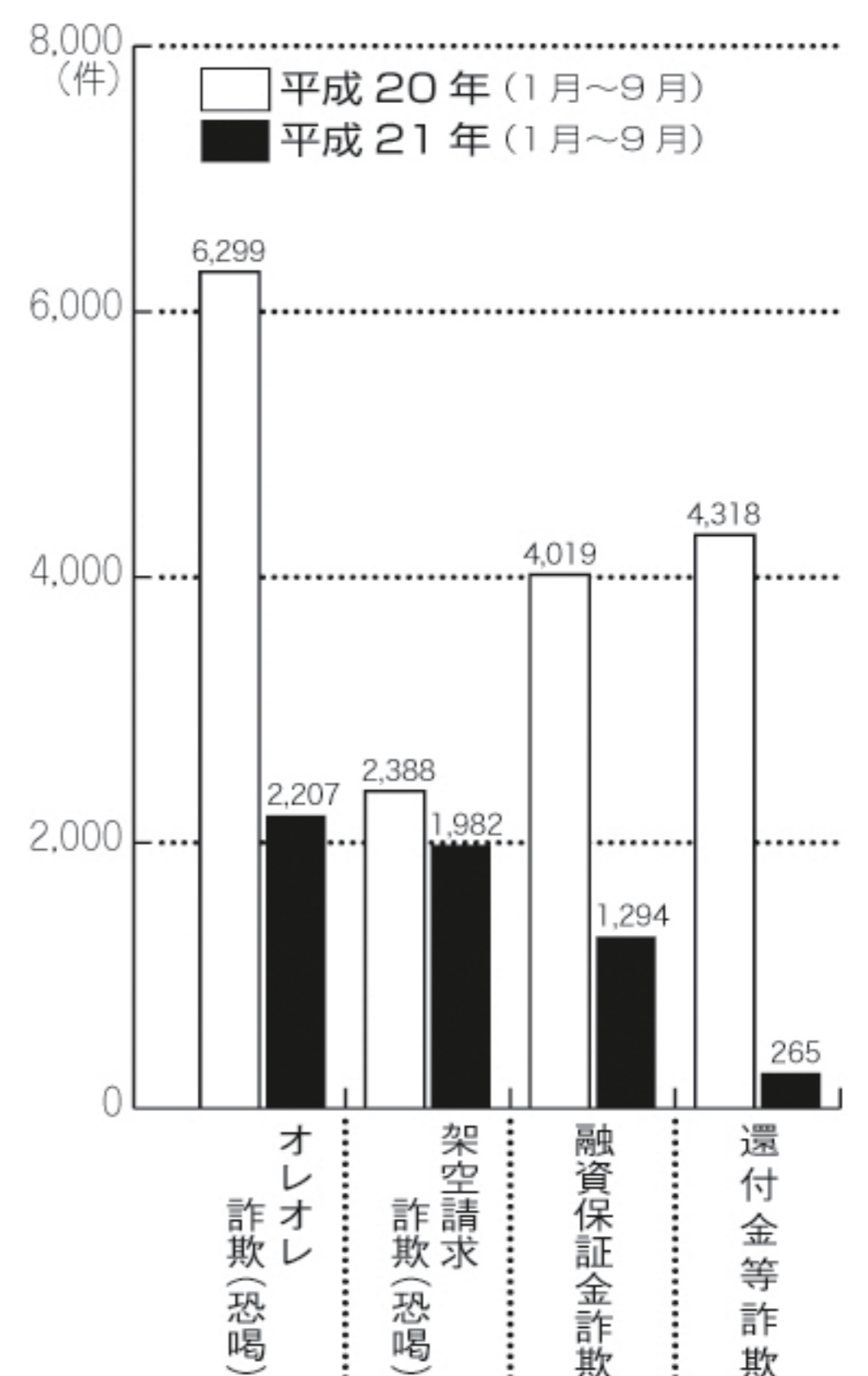
■手口の巧妙化

まず「携帯電話の番号を変えた」と『アポ電』と呼ばれる電話を入れて番号登録の変更をさせ、後日改めて金の要求をする手口が目立っています。『アポ電』は比較的短時間で、お金の話も出ないため、警戒心が強い人でも受け入れてしまふ点をつくもものです。

■受取手口は変幻自在

ATM（現金自動預払機）周辺の「声かけ」などにより、ATMを利用した振り込め詐欺が難しくなった犯人側は、エクスバックで金を送らせたり、手渡しを指定するなど、捜査の手を逃れるように、受取方法を変えてきました。しかし今また、ATMを使って振り込ませる手口が増えています。今度は行員らの声かけをかわすすべま

振り込め詐欺の類型別認知件数の対比



統計は警察庁の資料より

■ターゲットの移行

高齢者を中心に防犯意識が浸透したためか、警戒心の薄い若年層をターゲットにした、架空請求詐欺が発生しています。

「誰でもやっている」「やったもの勝ち」という詐欺犯の勝手な考えを絶ち、犯行を断念させるには、うまみをなくすことが必要です。それには、検挙率を高めて、犯行に伴う刑罰などのリスクを詐欺犯に認識させること、万が一、詐欺が成功しても、金が犯行グループの手に渡るのを阻止する体制を整えること、日頃から地道な広報啓発活動をして、市民が被害に遭わないよう防犯の知識を高めることが求められます。

■組織化・ビジネス化

検挙された容疑者は圧倒的に20代(警察庁資料)。生活に困り、やむを得ず犯罪に手を染める者が

いる一方、簡単に稼げるからとサークル感覚で詐欺グループを組織する高学歴者もみられます。費用や危険性、利益との関係を熟慮して、自分は危険を冒さず犯行を繰り返して、得た収入を資金に起業するケースもあるとか。

広がりを見せる青のチカラ

国民の50人に1人は
防犯ボランティア

ここ数年、子どもに対する犯罪が増加した時期もあったことから、各地で地域住民による自主防犯ボランティア活動が広がりをみせました。

警察庁のまとめによると平成20年12月末現在で、防犯ボランティアの団体数は4万団体を超え、構成員は250万1175人、単純計算で国民の約50人に1人が防犯ボランティアをしていることになりました。

身近な犯罪と言われる街頭犯罪・侵入犯罪の認知件数の推移を見ると、平成14年がピークで204万件近くを数えましたが、防犯ボランティアや防犯パトロール車が増加するにつれ、その件数は減少しています。(図1参照)
自主防犯ボランティア活動の中心を担っているのは、50歳代、60

歳代の地域の安心・安全の維持確保に強い関心をもっている年齢層で、防犯の広報、防犯教室の開催、地域安全マップの作成などの情報発信・啓蒙活動のほか、環境浄化や危険箇所の点検などの防犯環境の整備活動、防犯パトロールなどの活動を行っています。

街頭犯罪・侵入犯罪の認知件数の減少は、「犯罪被害の未然防止」と「犯罪を寄せつけない環境づくり」を目的とする防犯ボランティア活動が効果を奏した結果かもしれません。

防犯パトロール車の回転灯はなぜ青い!?

団体数や構成員の増加とともに防犯パトロール車の台数も年々増加しており、ルーフに「青色回転灯」を灯して走るパトロール車を街角で見かけることも珍しくなくなりました。

ところで、防犯パトロール車の回転灯は、なぜ「青色」なのでしょう。

防犯パトロール車に回転灯を装備するようになったそもそもの理由は、不審車両と見間違われなようにするため。また「青色回転灯」は、三重県四日市市の防犯ボランティア団体から始まったもので、「青色」にしたのは、緊急車両の赤色や道路維持車両の黄色が法制上使用できないため、市販されている回転灯の中で目立つ色を探した結果、「青色」に落ち着いたとのこと。

そして、これが徐々に全国的に広がり、防犯パトロール車には「青色回転灯」を装着することが慣例化したのです。

ブルキニエ現象が招く青色の街灯の防犯効果!?

- ① 潜在的犯罪者の存在
 - ② 被害者の存在
 - ③ 監視者の不在
- この考えに沿うと、暗闇を明るく照らす「青色」の街灯は監視者の存在をイメージさせ、監視性を高める役割を担っているといえるでしょう。

「青色」の街灯が目されたのは、2004(平成16)年、英国北部の都市グラスゴウのブキャナン通りで市の景観対策の環としてオレンジ色の街灯を青色に変えたところ、通りの雰囲気が変わったことに加え、犯罪の発生件数が減少する効果があったと報道されたことがきっかけです。

「青色」は、薄暗いところでは人間の目にモノがよく見える「ブルキニエ現象」を生じさせます。そのため「青色」の街灯は、通りの見通しをよくし、遠目がきつため犯罪企図者が「見られているかも…」という意識をもつことから、犯行を断念させる要素になっているのかもしれない。

「ブルキニエ現象が招く青色の街灯の防犯効果!？」

ちなみに、防犯の分野で防犯パト



ボランティア活動に励むパトロール車のルーフに灯る「青色回転灯」は、防犯の一つのシンボルです。

NCN HEAD LINE

「稲刈りパトロール」で高齢者に防犯広報

福井県大野署は、春の「あぜ道パトロール」に続き、稲刈り中の高齢者等に振り込め詐欺や交通事故防止を呼びかける広報活動を行いました。

「レッド&ブルー作戦」を毎月27日に展開

神奈川県警では9月から、赤色回転灯の警察車両と青色回転灯装備のボランティア車両が、夜間の同一時間帯にパトロールを行い警戒活動を強化しています。

中学生参加の「非行防止サミット」開催

高知県警が同県少年警察ボランティア協会と共催。高知市内の中学生47人が「万引き」「自転車盗」「携帯電話」をテーマに話し合いました。

警視庁、万引き被害届の手続きを簡略化

時間がかかることを理由に被害届を出さない小売店を減らすための全国初の試み。より深刻な犯罪への入り口となり得る万引の被害実態を掌握し、抑止につなげる狙いがあります。

都内の万引き被害額、振り込め詐欺の約11倍

08年に東京都内で認知された万引き被害は、届出があったものだけで約1万8千件、推計被害額670億円ということが、NPO法人「全国万引犯罪防止機構」の協力でも明らかになりました。

国内初「振り込め詐欺」保険が発売

エース損害保険が、企業向け「振り込め詐欺保険」の販売を発表。企業が顧客に代わって保険料を支払う顧客サービスで、顧客が被害に遭った場合、条件を満たせばエースから保険金または損失額が補償される仕組み。

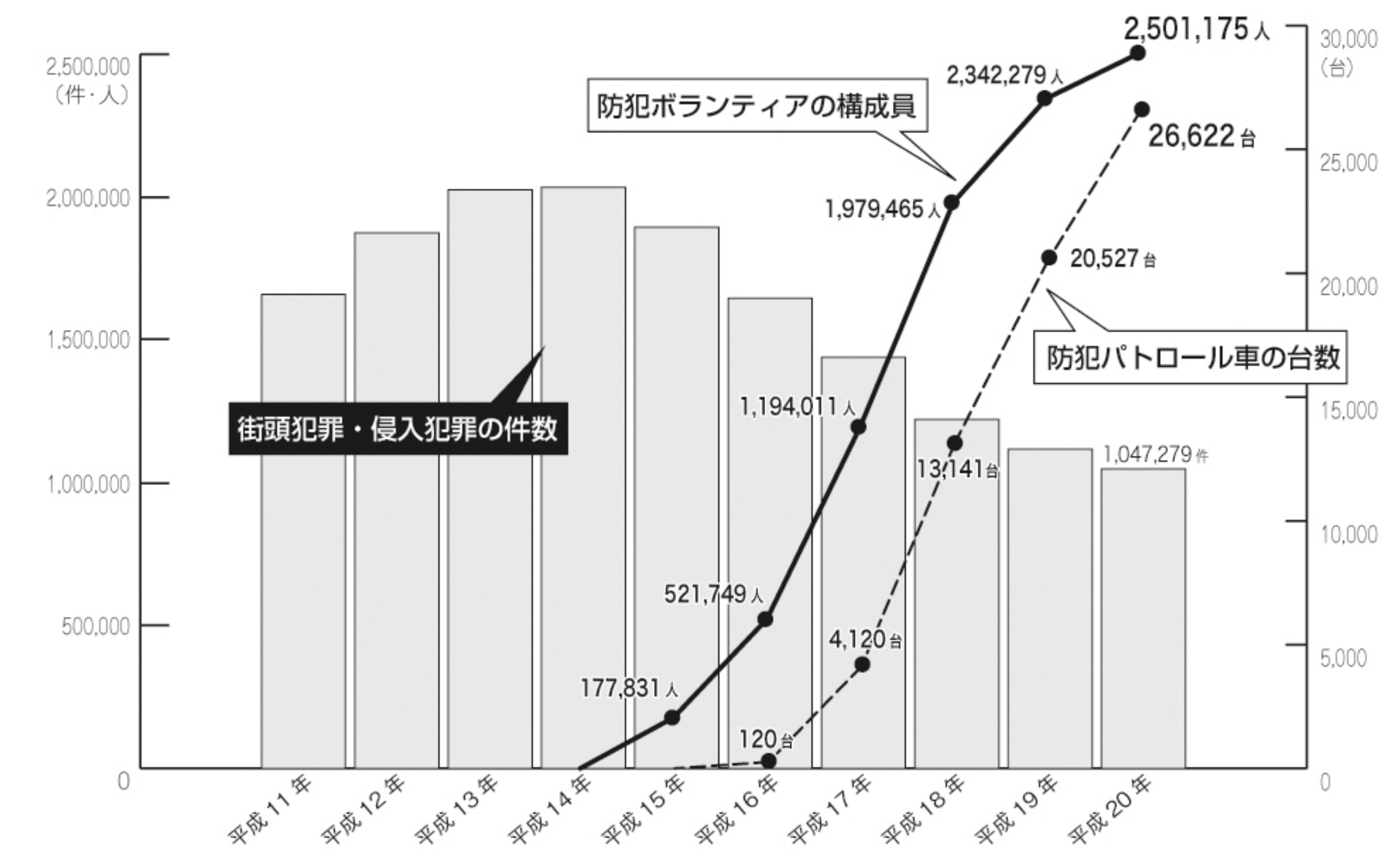
防犯ボランティアのシンボルマークが決定!

財全国防犯協会連合会が47都道府県防犯協会およびボランティア団体の構成員が活動中に使用するための防犯ボランティアのシンボルマークを募集し、決定しました。



全国から835点の応募があり、選ばれたのは東京都の井口やすひささんの作品です。

(図1) 街頭犯罪・侵入犯罪の認知件数と防犯ボランティア構成員、防犯パトロール車の台数の推移



街頭犯罪・侵入犯罪の認知件数は警察庁の資料より、防犯ボランティア構成員と防犯パトロール車の台数は(財)全日本防犯協会連合会の資料より

安心・安全

各地で行われている防犯に関する話題や啓発活動などにスポットをあてるコーナーです。



◀ 室戸地区地域安全協議会 (高知県)

9月の「振り込め詐欺抵抗力強化キャンペーン」、10月の「全国地域安全運動」期間中に高齢者宅の戸別訪問をしたほか、年金支給日にあたる15日に金融機関前で振り込め詐欺を防止するポイントが掲載されているメモ帳を配布して啓発にあたりました。

▶ 京都府警察本部

府内のひったくり被害が急増したことを受け、9月18日に府下一斉の「ひったくり警戒日」を設けました。夕方、駅から自宅への道すがらを狙う犯行が多いため、私鉄駅の改札付近で勤め帰りのOLなどに警察官がチラシやポケットティッシュを配布し注意を呼びかけました。



◀ 三木防犯協会 (兵庫県)

10月の「地域安全運動」期間中に、量販店の前で、振り込め詐欺など身近な犯罪を防ぐための知恵をまとめた啓発物を配布し、地域住民の警戒心の高揚を図りました。

本紙への掲載にご協力いただき、ありがとうございました。

BOOKSHELF

犯罪は「この場所」で起る

小宮信夫(著)

光文社新書

2005年8月(発行)



凶悪事件を犯した者が逮捕されると、警察は犯罪の動機を探り、報道関係は犯人が育った家庭環境などを調べ、厳しく非難します。

こうした犯罪の原因を追求して除去しようとする「犯罪原因論」を離れ、本書では犯罪企図者に犯行機会を与えないようにするための「犯罪機会論」を取り上げています。物的環境や人的環境の改善を通して、犯罪が起りにくい場所に変えていくことの必要性を、さまざまな事例や写真をとおして紹介しています。

川柳後記

編集後記に代え、防犯をテーマにした川柳はいかがでしょう。

空き巣かな? ウチのへそくり

無くなった(被害妄想)

練習で ブザー鳴らして

苦情来た(練習魔)

だまされる フリも手馴れて

大女優(ユーカーマダム)

「親切な 人も疑え」

子に教え(トホッ)

今度こそ 息子の声か

その電話(待ちわびて)

だまされた フリしても聞く

詐欺の声(人恋し)

親にTEL やっぱ「オレオレ」

言っちゃうわ(孝行息子)

カサ忘れ あわてて戻り

カギ忘れ(バカちゃんまんねん)

あのしつけ 愛情だった?

本当に(二元おさな親)

「危ないよ」声かけしたら

怖がられ(ああ誤解)